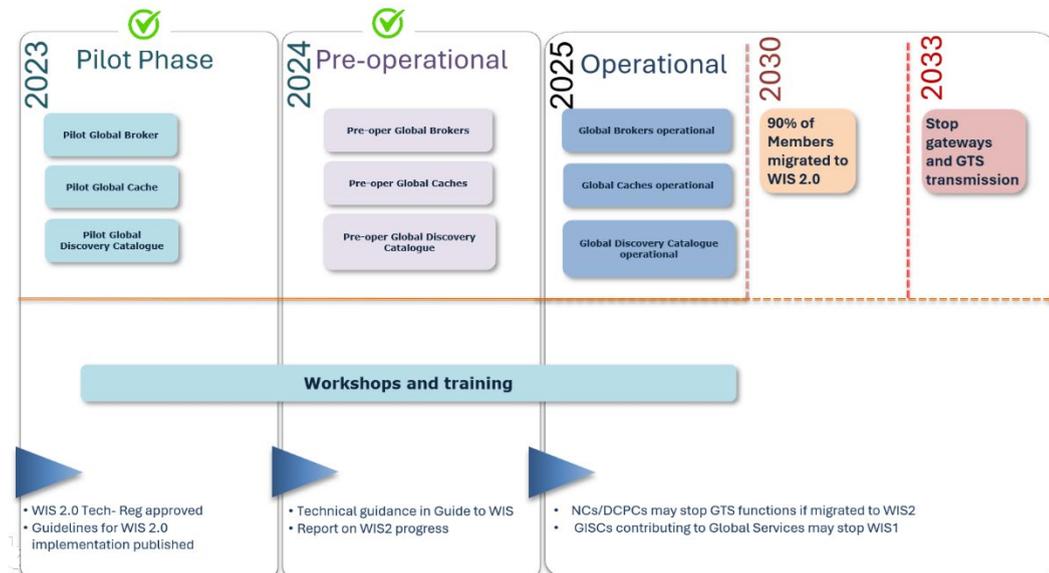


## 気象データの利用環境に関する調査(気象庁案件)

WMO（世界気象機関）の気象情報共有プロトコルが従来の専用線接続からインターネット接続に変更されるのに伴い、日本気象庁は ASEAN の接続センターのハブとなることを目指しています。日本気象庁に対し、全球情報システムセンター（GISC）と協力関係又は気象レーダーのデータを試験的に交換している ASEAN(ブルネイを除く)及びバングラデシュを対象とし、インターネット通信インフラの普及状況、サービスプロバイダの市場動向及び利用可能サービス、電気通信にかかる法制度等を調査して、3月に報告書を提出しました。

この調査を通じて、各国の現状と課題に応じた支援優先国の特定、支援手法（技術協力、インフラ支援、研修等）の選定について、JTECの専門的な知見を活かして気象庁に提言しました。これにより WIS2.0 への円滑な移行を支援し、日本の気象庁の国際的なプレゼンスの向上に貢献したと考えています。

### WIS2.0 への移行イメージ



出典 : [https://community.wmo.int/en/GTS\\_WIS2\\_Transition\\_Guidance](https://community.wmo.int/en/GTS_WIS2_Transition_Guidance)